

～子どもの健全な成長を支える家庭の役割～

郡山市立赤木小学校長 鈴木 久

桜舞い散る季節となりました。保護者の皆さまには、本校教育に深いご理解と温かいご支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、昨今の教育事情において、いじめが原因と思われる自殺事件や不登校児童生徒の増加、保護者による児童虐待・ネグレクトなどが大きな社会問題となっています。

子どもの豊かな心、強い心を育てるためには、学校と家庭、地域が連携し合って、子ども一人ひとりを温かく見守り、適切に指導していくことが大切です。

とりわけ、家庭の役割は重要であり、子どもの健全な成長を支える最も重要な場所となります。

子どもにとっての家庭は、家族の深い愛情と信頼の絆で結ばれた「安らぎの場」であること、そして「鍛錬の場」であることを意識しながら指導にあたっていただければと思っております。

1. 子どもにとって家庭は深い愛情と信頼で結ばれる「安らぎの場」です。

- (1) 子どもが家族の深い愛情につつまれ、温かさを感じられる時間や場をつくることが大切です。
- (2) 子どもが伸び伸び育つためには、子どものよさを認め、励ますことが大切です。
- (3) 子どもが友だち関係やいじめなどの不安、悩みを打ち明けられるように、夕食時など、気軽に話せる「団らん」の時間をつくりましょう。
- (4) 早寝・早起き・朝ご飯の習慣を身に付けさせましょう。

2. 子どもに「命」の大切さを繰り返し教えましょう。

- (1) 「どんなことがあっても、いじめは人として絶対に許されない」ということを、子どもと一緒に考えることが大切です。
- (2) 祖父母、両親、そして子どもへと命はつながっています。命を守り、生きることとは、すばらしく、かけがえのないことを教えましょう。
- (3) 人は互いに支え、支えられて生きていること、決して一人では生きていけないことを機会あるごとに話をしていきましょう。

3. 「しつけ」は、家庭の重要な責任（役割）の一つです。（鍛錬の場）

- (1) ルールを守ることや他人への思いやり、弱いものを助ける勇気など、日常生活の中で教えていきましょう。
- (2) 「ならぬことはならぬ」ということを教えましょう。「いじめをすることも、見ていること」も「ならぬこと」とであると教えましょう。

子どもの言動で気になることを見たり聞いたりしたときは、迷うことなく、学校に相談してください。また、スクールカウンセラーにも相談できます。